

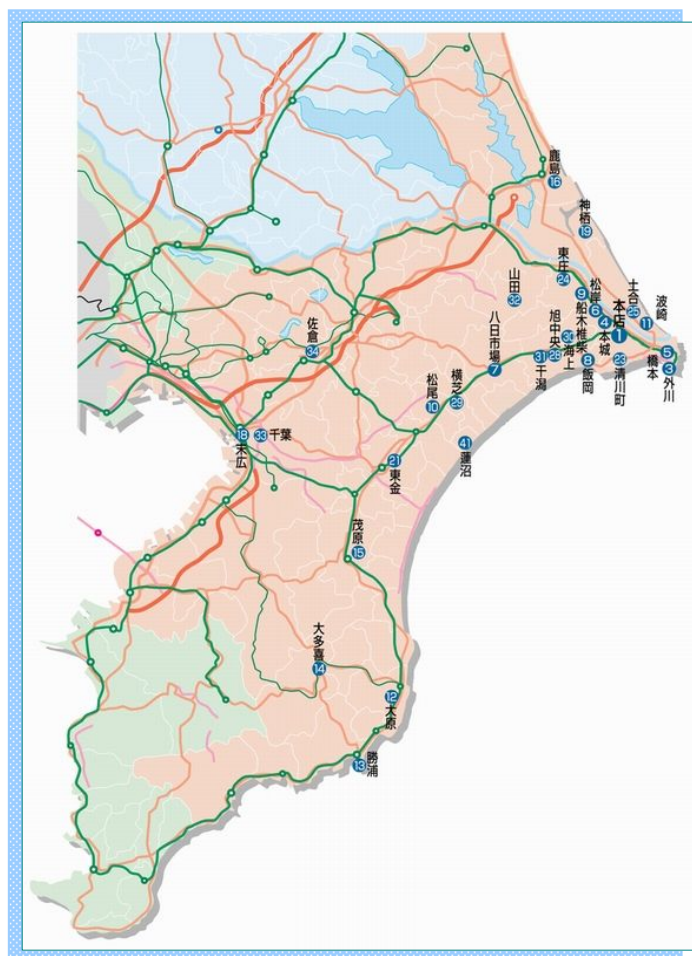
# 2013

1月号

## ちょうしんきん

# 景況レポート

Economic Report of Sales Territory



1. 概況

全体の景況感（全29店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	0	29	0
今後3か月程度の見通し	0	27	2

【漁業】

銚子港の平成24年12月の総水揚げ数量は25,366トンで前年同月比▲1,399トンの減少となった。総水揚げ金額は2,767百万円で前年同月比▲367百万円の減少となった。鯨・サンマの水揚げが増えたが鰯・鯖・鰹・鮪等が前年同月比水揚げ数量・金額ともに減少した。

【農業】

銚子地区では、12月からキャベツ・大根の本格的出荷が始まったが、低温の影響で肥大化が進まず、集中的な集荷による値崩れの懸念は薄らいだ。キャベツは冬・春系産地の出荷が続いているが、Lサイズ（10Kg）1,000円前後で推移、大根も相場はLサイズ900円程度と前年を上回るが一進一退の展開が続く見込み。

【商業】

個人消費については、気温の低下による冬物商品の好調や、年末のギフト関連の動きが堅調で、観光客等が戻ってきている地域もあることから、小売や観光関連で好調な先が見受けられる。

【建設業】

平成24年11月の公共機関からの受注工事（1件500万円以上の工事）は、千葉県で21,805百万円（前年同月比▲458百万円）、茨城県は20,747百万円（前年同月比▲4,920百万円）となった。また前月（10月）と対比して千葉県は+5,195百万円、茨城県は+2,907百万円の増加となった。

【観光業】

観光業は、紅葉・忘年会のシーズンであり、養老溪谷などは例年程度の集客が続き、週末の稼働状況が好転、年末の宿泊客は各施設ともほぼ満室となった。

遊漁船関係はヒラメ・ハナダイ等の釣果が好調であり、遠方からの利用客が増加したが、天候不順による出漁回数の減少が懸念される。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車

（前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。）



## 2. 主要業種別動向

### ■ 漁業・水産加工業

銚子港の平成24年12月の総水揚数量は25,366トンで前年同月比▲1,399トンの減少となった。総水揚金額は2,767百万円で前年同月比▲367百万円の減少となった。鰯・サンマの水揚げが増えたが鰯・鯖・鰹・鮪等が前年同月比水揚数量・金額ともに減少した。また、前月比については総水揚数量、水揚金額とも減少した。

銚子漁港の平成24年暦年の水揚げ量は22万9660トンで、一昨年に続き水揚げ量で日本一となった。2位は焼津漁港、3位は長崎漁港となった。銚子漁港の一昨年（平成23年暦年）の水揚げ量は22万5618トンだった。

波崎港では、稼働日数は9日で、12月の総水揚数量5,570トン、総水揚金額528百万円、対前月比水揚数量は▲3,722トン減少、水揚金額も▲274百万円の減少となった。近海での鯖中心の操業となり、魚価は前月比値上がりした。

勝浦港では、総水揚数量は547トンで総水揚金額316百万円となった。前年同月比では、総水揚数量で▲80トン減少、総水揚金額も▲16百万円減少した。前月対比でも、鯖類は戻ったが総水揚数量で▲23トン、総水揚金額も▲52百万円減少した。

大原では伊勢エビが小ぶりで水揚げ量も少なく、低調に推移している。

水産加工業では、前浜で品質のよい鯖が揚がっており、比較的安価に仕入れできたため、今後の収益に寄与できる。サンマの入荷はあるが、魚体が小さく加工用に不向きで、解凍サンマの需要が戻っているが、代用できるサイズの在庫も少ない。

### 銚子魚市場水揚高

銚子市漁業協同組合調べ

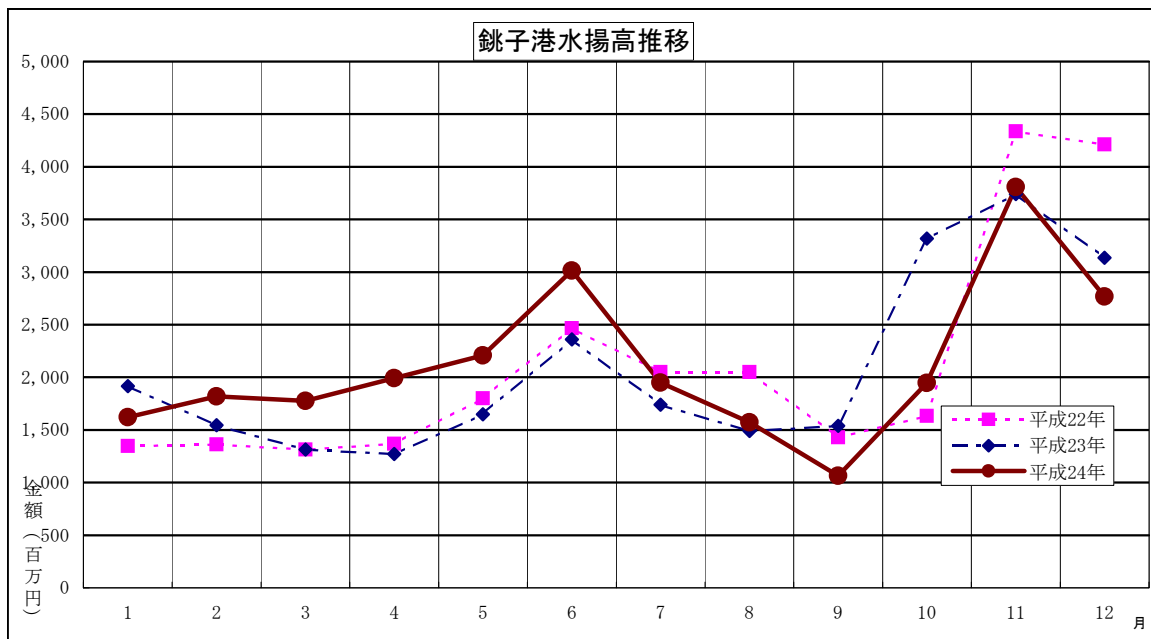
種類	区分	数量（トン）			金額（千円）		
		H24年12月	H23年12月	前年同月比	H24年12月	H23年12月	前年同月比
鰯		716	6,683	▲ 5,967	37,169	207,185	▲ 170,016
鯖		10,949	11,158	▲ 209	1,018,085	1,186,006	▲ 167,921
鰯		1,213	590	623	142,297	38,373	103,924
鰹・鮪		4,581	5,147	▲ 566	913,425	1,177,484	▲ 264,059
(内鰹一本釣)		0	0	0	0	0	0
秋刀魚		7,414	2,686	4,728	310,147	185,039	125,108
底曳		252	226	26	113,220	107,063	6,157
その他		242	275	▲ 33	233,640	234,380	▲ 740
合計		25,366	26,765	▲ 1,399	2,767,984	3,135,530	▲ 367,546

前月比	数量	61.48%
	金額	72.71%
前年同月比	数量	94.77%
	金額	88.28%

### 水揚日数

	H24年12月	H24年11月	H23年12月
鰯	6日	4日	7日
鯖	10日	12日	7日
鰯	6日	6日	3日
鰹・鮪	21日	23日	22日
(内鰹一本釣)	0日	0日	0日
秋刀魚	15日	24日	7日
底曳	22日	17日	23日
その他	24日	24日	25日





## ■ 農 業

銚子地区では、12月からキャベツ・大根の本格的出荷が始まったが、低温の影響で肥大が進まず、集中的な集荷による値崩れの懸念は薄らいだ。キャベツは冬・春系産地の出荷が続いているが、Lサイズ（10Kg）1,000円前後で推移、大根も相場はLサイズ900円程度と前年を上回るが一進一退の展開が続く見込み。

波崎地区のピーマンは、前月、前年同月比高値で取引された。12月下旬は1袋70円程度となった。気温が低かったことによる生育不良もあり、出荷量も少なく、ハウスでの重油暖房の経費が重荷となっている。

旭地区のキュウリ・トマトの価格相場はキュウリが1本（等級 秀）10円～40円程度、トマトは1箱（4Kg）500円～1,800円程度で取引された。前月と比較してキュウリは変わらず、トマトは300円程度値下がりして取引された。

海上地区のマッシュルームは、1パック（100g）100円前後と前年同月と同水準で取引されている。

飯岡地区のレタスは（1箱15個）3,000円と例年になく高値がついている。パセリ、春菊も、前年同月比高値で推移した。

横芝光町のブランドねぎ「ひかりねぎ」が最盛期に入ったが、（5.5Kg, 1箱45本）2,200円と、前年を上回る価格で取引されている。

## ■ 商 業

個人消費については、気温の低下による冬物商品の好調や、年末のギフト関連の動きが堅調で、観光客等が戻ってきている地域もあることから、小売や観光関連で好調な先が見受けられる。

また、エコ自動車の購入支援策が継続していることから、小型車を主に販売は戻り基調にある。さらに、住宅関連では太陽光発電の固定価格買い取り制度の関心が高まったことから、太陽光発電の設置やエコライフにつながる消費の増加が期待されている。

小売業ではイベント開催等で好調な先はあるが、賞与減少に伴う個人消費への影響が見受けられ、大手チェーン店の攻勢とあわせて依然回復感は低調に推移している。中小の小売店・飲食店では消費者の節約志向や大型店との競合から、厳しい環境が続いている。

石油卸業者は、冬季シーズンの農業用燃料の需要が高まっている。

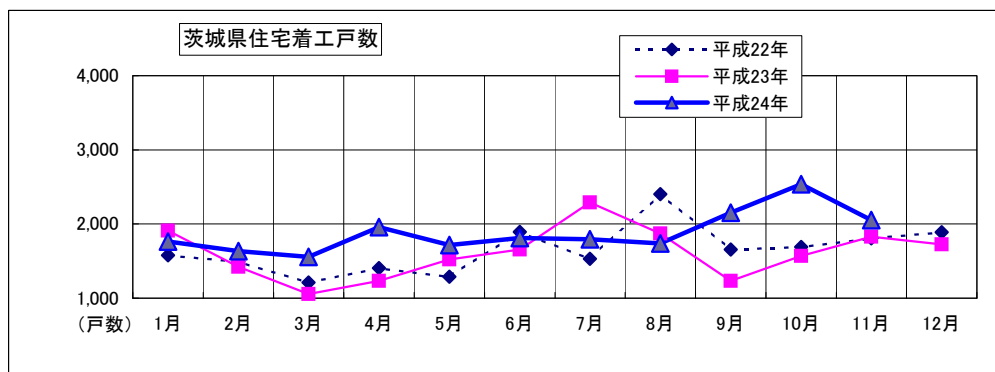
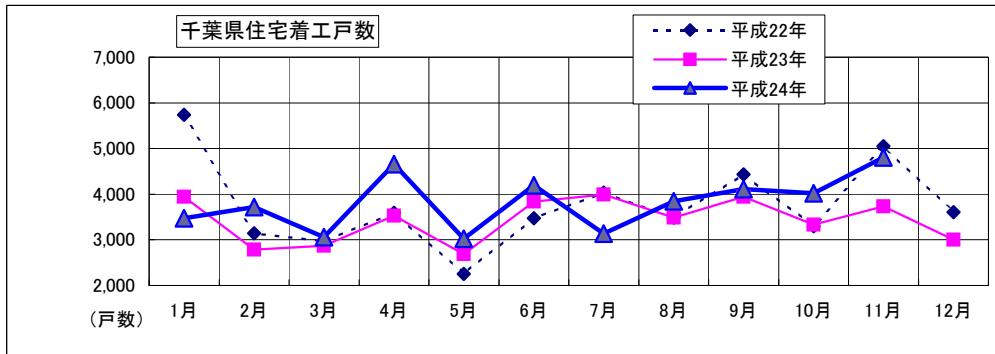
旭市や匝瑳市の国道126号沿いに大型店が相次いで開店しており、既設大型店との競争の余波が中小小売店にも及ぶことが懸念されるが、目立った影響は出ていない。

情報アドバイス  
銚子商工会議所

## ■ 建設業

千葉県・茨城県の住宅着工戸数は以下のとおり。

	前月戸数	前々月戸数	増減
千葉県	4,804	4,019	785
茨城県	2,053	2,538	▲ 485



平成24年11月の公共機関からの受注工事(1件500万円以上の工事)は、千葉県で21,805百万円(前年同月比▲458百万円)、茨城県は20,747百万円(前年同月比▲4,920百万円)となった。また前月(10月)と対比して千葉県は+5,195百万円、茨城県は+2,907百万円の増加となった。

公共機関からの受注工事は、前年同月比では千葉県・茨城県ともに受注が減少し、前月比では千葉県・茨城県ともに受注は上回り、千葉県では国の機関からの受注が上回る結果となった。

平成24年11月の住宅着工戸数は、千葉県では4,804戸と前年同月比+28.79%(1,074戸)の増加、茨城県では、2,053戸で同+12.25%(224戸)増加した。なお、前月(10月)対比については、千葉県で785戸の増加、茨城県では▲485戸の減少となった。

国土交通省統計情報より

## ■ 観光業

観光業は、紅葉・忘年会のシーズンであり、養老渓谷などは例年程度の集客が続く、週末の稼働状況が好転、年末の宿泊客は各施設ともほぼ満室となった。

遊漁船関係はヒラメ・ハナダイ等の釣果が好調であり、遠方からの利用客が増加したが、天候不順による出漁回数の減少が懸念される。

今後は観光オフシーズンとなるため宿泊客の予約状況は芳しくなく、各施設とも年度末の宴会需要に期待している。

大多喜地区では紅葉シーズンで養老地区を中心に活況であり、年末年始の観光客も前年対比増加した。

いすみ地区では、遊漁船でショウサイふぐの釣果が良好で、利用客も増加した。

飯岡地区では、遊漁船でヒラメは好調だったが、真鯛が不漁で、後半は天候の影響も見られ客足は減少した。

神栖市波崎地区では、年末恒例のサッカー大会が開催され、スポーツ民宿が盛況だった。

情報アドバイス  
銚子商工会議所



## ■ 不動産業

茨城県神栖市では、土合地区・知手地区等で複数の分譲計画が進んでいる。合わせて、大手企業の社宅跡地で分譲が計画されており、供給過剰が懸念されている。

旭市でも複数の分譲案件や計画が進んでおり、消費税増税前の駆け込み需要を見込んだ動きが見られる。

## ■ 養豚業・畜産業

平成24年12月の東京市場での鶏卵と豚枝肉の卸売価格相場は、鶏卵（Mサイズ）の卸売価格は平均230円/kgで前月比+21円/kg値上がりした。前年同月比については+35円/kg値を上げた。豚枝肉の卸売価格相場は、428円/kgで前月比+30円/kg値上がりした。前年同月比では▲21円/kg値下がりした。飼料価格が高騰しており、厳しい状況が続く。

## ■ 自動車ディーラー

平成24年12月の千葉県新車登録台数は10,096台で、前年同月対比95.75%（▲448台）の減少となり、4ヶ月連続で前年同月台数を下回った。また、前月対比では91.37%（▲953台）の減少となった。

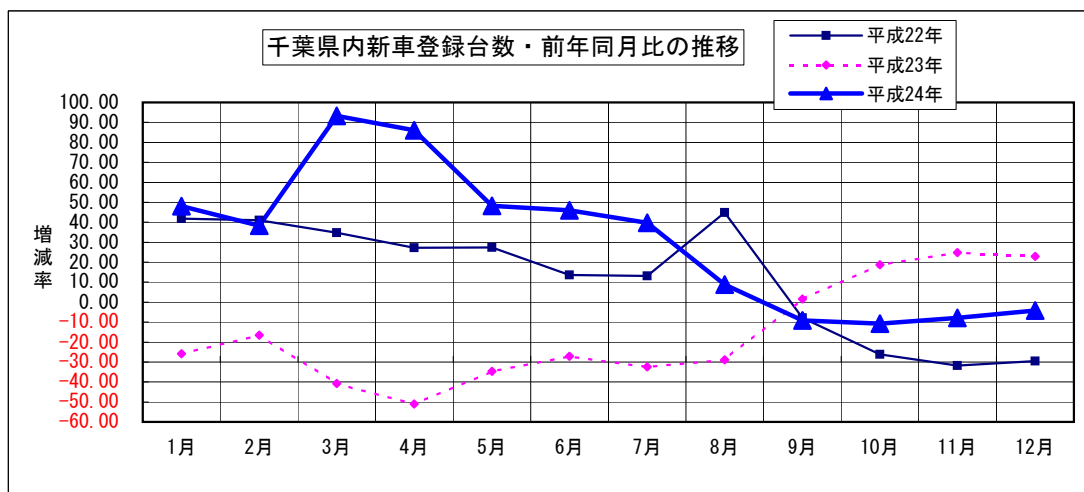
車種市場別の登録台数状況を見ると、乗用車市場全体では8,668台の登録台数で前年同月対比93.07%（▲645台）となった。また、貨物車市場は1,113台の登録台数で前年同月対比118.40%（+173台）となった。

占拠率はトヨタが43.6%の占拠率を確保、占拠率順位2位は、5ヶ月連続で日産（13.4%）となり、占拠率順位3位はホンダ（11.1%）となった。

千葉県内新車登録台数状況（軽自動車を除く）

		当 月	前 月	前 月 比	前 年 同 月	前 年 比
乗 用	普 通	4,407	4,752	92.74%	5,080	86.75%
	小 型	4,261	4,776	89.22%	4,233	100.66%
	小 計	8,668	9,528	90.97%	9,313	93.07%
貨 物	普 通	522	425	122.82%	330	158.18%
	小 型	591	811	72.87%	610	96.89%
	小 計	1,113	1,236	90.05%	940	118.40%
特 殊 等	特 殊	269	249	108.03%	259	103.86%
	バ ス	46	36	127.78%	32	143.75%
	小 計	315	285	110.53%	291	108.25%
総 合 計		10,096	11,049	91.37%	10,544	95.75%

社)日本自動車販売協会連合会 千葉県支部調べ



情報アドバイス  
千葉トヨタ自動車(株)

### 3. その他の動向

#### 求人

##### 有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	前月	前々月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.75	0.72	0.03	0.67	0.08
茂原公共職業安定所管内	0.48	0.47	0.01	0.61	▲ 0.13
いすみ公共職業安定所管内	0.54	0.55	▲ 0.01	0.65	▲ 0.11
成田公共職業安定所管内	0.83	0.77	0.06	0.72	0.11
佐原公共職業安定所管内	0.65	0.62	0.03	0.59	0.06
千葉県	0.71	0.70	0.01	0.60	0.11
常陸鹿嶋公共職業安定所管内	0.83	0.80	0.03	0.83	0.00
茨城県	0.77	0.77	0.00	0.72	0.05

有効求人倍率＝有効求人数÷有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原/常陸鹿嶋調べ

#### 電力

##### 電力使用量

(単位：千kwh)

	前月	前年同月	増減
東京電力成田支社管内総電力使用量	351,860	355,454	▲ 3,594

東京電力㈱成田支社調べ

#### 倒産

平成24年(2012年)12月の負債総額1000万円以上を有する千葉県内企業倒産件数は23件で、前月比で3件の減少となった。また、前年同月比でも13件の減少となった。

負債総額は31億9900万円で、前月比48億5600万円の減少となり前年同月比でも27億4400万円の減少となった。12月は負債総額10億円以上の大型倒産は発生せず、中小・零細企業の小口倒産が散発した。

千葉県内の震災関連倒産は、12月は3件発生し、累計で38件となった。震災後、厳しい外部環境から業績回復が果たせず、倒産に至っている。

企業倒産を抑制させた金融円滑化法の実績は平成24年9月末現在で県内地銀3行、信金5金庫で9万5,935口であり、その施策効果も薄らいでおり、平成25年3月の同施策の終了が注視される。また、県内企業の業績そのものを向上させる明るい材料に乏しく、経営体力を消耗している企業も多く、暦年の比較では平成24年は3年ぶりに増加に転じており、企業倒産は今後も予断を許さない状態にある。

倒産会社の従業員数は166名で前月より244名減少した。

産業別では「サービス業他」が7件(構成比30.4%)を占めた。負債総額では「製造業」が8億7700万円(構成比27.4%)と多く、次いで「運輸業」が8億1600万円(構成比25.5%)となった。

原因別では、「業績不振」によるものが18件(構成比78.3%)と多く、次いで「過小資本」が4件(構成比17.4%)となった。

地域別では、件数で市原市や県北西部、負債総額でいすみ市と長生郡が上位を占め、倒産形態では破産が20件、銀行取引停止処分が3件と続いた。

平成23年3月に「景気対応緊急保証制度」が終了、平成25年3月には「金融円滑化法」も終了を迎えようとしているが、経済の収縮と個人消費の低迷から各企業が売り上げを伸ばす材料を見出せずにいる。12月に政権が交代し政府の経済対策が注目されるが、業績向上の見通せない企業の倒産が続いていくものと見られる。

(東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より)

銚子市漁業協同組合  
銚子商工会議所  
株式会社 東京商工リサーチ  
国土交通省 統計情報  
社) 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部  
千葉トヨタ自動車 株式会社  
ハローワーク銚子  
ハローワーク茂原  
ハローワークいすみ  
ハローワーク成田  
ハローワーク佐原  
ハローワーク常陸鹿嶋  
東京電力 株式会社 成田支社  
(順不同)  
※ その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行；銚子信用金庫  
編集；営業推進部  
住所；〒288-8686 銚子市双葉町5-5  
電話；0479-25-2121  
FAX；0479-24-4591  
E-mail；eisui@choshi-shinkin.co.jp  
URL；http://www.choshi-shinkin.co.jp

## ちょうしんきん ビジネス知恵袋のご案内

「取引先事業所の成長・発展」を目的に、経営コンサルティング企業の㈱タナベ経営とタイアップし、みなさまのビジネスを支える多彩な情報をインターネットを通じてご提供するサービスです。

【年会費】17,850円（うち消費税850円）

【ご入会】当金庫取引の有無は問いません。入会申込書は、お近くのちょうしんきん窓口またはご担当の営業担当者におたずねください。

### 経営情報レポート

業種別・機能別・経営テーマ別に分類。  
改善事例や経営ノウハウなど総数2,000種類の経営情報をご提供。

### 法律アドバイスネット

法律に関するQ&A4,000種類。申請書・申告書記載例300件、根拠条文も閲覧可能。

### ネット経営相談

企業経営に関するアドバイスネット。FAQを50件掲載。  
あらゆる経営のお悩みをご相談ください。専門コンサルタント、法律・税務の専門家がメールでアドバイスいたします。

### レポート・ネット

毎月配信するリーダーズ・レポートと地域版コンサル・レポートをご覧いただけます。

その他のコンテンツを含めて、全16の充実したコンテンツが満載！  
みなさまのお申込みをお待ちしています。